

第13回

研究者と実務者による国際協力勉強会

(JICA大阪・民博・阪大GLOCOL セミナー)

国際協力を効果的に進めていくためには、開発問題や途上国事情に詳しい研究者と国際協力事業の実務者との対話が必要です。本勉強会を通じて、研究者は実務の現場を知り、自身の研究の実践的価値を検討することが可能です。実務者は日頃の自分の経験を振り返り、業務中に生じた疑問に対するヒントを見つけたり、包括的な立場から国際協力について考えることができます。



また国際協力／研究に関心のある方ならどなたでも、本勉強会にご参加ください。国際協力／研究の「現場」に触れられます。開発研究・地域研究・人類学に興味のある方、NGOスタッフ、コンサルタント、ボランティアとして国際協力に関わっている方など、多方面からのご参加をお待ちしています。

2010年1月15日 (金)

18:40~20:40 場所：JICA大阪（茨木市）

「開発現場としての博物館、現地住民にとっての博物館」

五月女 賢司（国立民族学博物館・機関研究員）

概要：カリブ海に浮かぶ島国・セントクリストファー・ネイヴィスの博物館における自らの活動と、当該社会の人々の博物館を使った文化運動について触れたい。

プロフィール：専門は博物館学。博物館の教育的役割、地域における博物館の役割に関心がある。

プログラム

- 18:40- 開会
- 18:50- 報告
- 19:30- ディスカッション
- 20:40- 閉会
- 21:00- 懇親会（希望者のみJR茨木駅周辺）

申込み

- 件名を「参加申込」とし、
①氏名、所属、Eメールアドレス ②懇親会参加の有無 を
jicaminseminar@yahoo.co.jp（担当：上田・常田）
までメールでお送りください。
1月13日（水）〆切。参加費無料。定員50名（先着順）。



アクセス

JICA大阪国際センター
茨木市西豊川町25-1 TEL：072-641-6904
JR茨木駅・大阪モノレール阪大病院前駅から徒歩無料
シャトルバスあり。詳細は www.jica.go.jp/osaka/
をごらんください。

問い合わせ

勉強会事務局：大阪大学GLOCOL
TEL：06-6879-4442 担当：上田・常田
当日連絡先：JICA大阪
TEL：072-641-6904 担当：中谷・難波